

平成30年度動物愛護週間ポスターのデザイン絵画コンクール受賞作品

○最優秀作品（環境大臣賞）今年度動物愛護週間ポスターに使用



稲垣 茉莉さん（愛知県在住）

◆作品に関するコメント

ペットを飼うことは、楽しむだけでなく、その動物や周りの人が安心できるように環境を整えたり病気を防いだりすることがとても大切です。なので、動物を不安から守るという意味で、手をつつんでいるようにしました。

○優秀作品（動物愛護週間中央行事実行委員会委員長賞）※50音順



尾関 裕美さん（愛知県在住）

◆作品に関するコメント

飼い主が動物の特性を理解し正しく取扱い飼育する事で、動物も人も社会の中で幸せに暮せる事を多くの人に知ってもらいたくてポスターを制作しました。



貴田 和恵さん（大阪府在住）

◆作品に関するコメント

生き物は使い捨てではなく、命あるもの。可愛いだけではないのです、大変でお金も時間も沢山かかります。それが責任と言うものです。飼うとは癒されるけど、与えるものも大きいですね。癒してくれる動物達に愛をこめて描きました。



高吉 遼花さん（鹿児島県在住）

◆作品に関するコメント

家の、犬のいちごくんは、てんかんと言う病気なので、健康診断や予防接種のために、動物病院によく行きます。私はいちごくに、健康で長生きしてもらいたいと思ったのでこの絵を書きました。



野崎 健太さん（鹿児島県在住）

◆作品に関するコメント

みんなが動物に優しくしたらよいと思って描きました。僕はペットを飼ったことはありません。でも、いつか飼ったら優しくしたいと思います。



羽川 歩さん（北海道在住）

◆作品に関するコメント

ぼく達、人間の命もペットの命も同じくらい大切だと思います。なので、最期までせきんを持って動物をかわなければいけないと思います。